

創造する技術、 守る未来

情報コース 准教授

橋本正樹

(創造工学部4年生)
庭瀬諒さん

(創造工学部4年生)
蓮井宏規さん

+ 協力研究員の皆さん

神奈川県警察 堺啓介さん
トレンドマイクロ株式会社 嶋村誠さん
千葉県警察 竹重耕介さん
トレンドマイクロ株式会社 松ヶ谷新吾さん

(創造工学部4年生)
松原潤さん

(創造工学部4年生)
唐澤琴乃さん

- ・電気事業法関係審査会(経済産業省)委員
- ・サイバーセキュリティ教育推進センターアドバイザー(国立高等専門学校機構)
- ・サイバーセキュリティ産学連携推進協議会幹事(日本ネットワークセキュリティ協会)
- ・情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC) 専門委員



人々が安心して情報社会で暮らせる技術の研究開発

さまざまな情報科学の基礎技術を組み合わせて、詐欺サイト検出、マルウェア(悪意のあるソフトウェア)分析、SNS上の情報操作検出など、現代社会の身近な脅威に対する防御技術を開発しています。

情報セキュリティは単なる技術的な問題ではありません。問題の多くは人間の悪意に起因します。技術的な対策に、人間の心理や行動を理解することが重要です。そのため、コンピュータサイエンスや工学といった技術的な分野だけでなく、心理学、社会学、法学、経済学などの社会科学分野の知見を必要とする総合的な学問分野です。

私の研究事例として、

01. 偽サイトの検出技術に関する研究*

インターネット上に存在するあらゆる違法有害情報を迅速に検知し、対策を講じることを目指します。現時点では、効率的なクロウラ(ウェブサイトから必要な情報を収集する自動プログラム)と機械学習により、偽ショッピングサイトの自動的検出システムは開発済みです。今後はSNS上の偽情報やフィッシングサイトなども対象とする拡張を行います。

02. 偽情報の検出技術に関する研究

日本における偽情報拡散の実態解明を目指します。そのために、日本におけるソーシャルポット(SNS上で自動的にコミュニケーションを行うプログラム)について、特に拡散速度が速いとされる政治関連の話題においてどの程度の件数・割合を占めているかを明らかにします。

03. システム内活動の紐付けと可視化

プロセスの親子関係や実行履歴、ファイルの操作履歴などから一連の活動をリンク付けし、事前に悪性活動を定義しておくことで、複雑な攻撃の機械的な判定を可能とします。

詳しくは、個人ホームページをご覧ください。



※SAGICHECK



ゼミの様子

【関連情報】

警察研究論文・最優秀論文賞を受賞



HASHIMOTO LABORATORY



研究室全体で関わる

SETOKU

サイバー防犯ボランティア
全学サークル



SETOKUとは「Security Team Of Kagawa University」の略称。2021年11月に結成されました。香川県警察や日本サイバー犯罪対策センター、トレンドマイクロ株式会社さんなどと協力して活動を行っています。

【関連情報】

香川県警察サイバー防犯ボランティアに委嘱(2025.5.9)

